

豊田民報

日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一・六・六
Tel: 三四・四七二
毎週一回発行

12月市議会

日本共産党市議団 根本みはる市議の質問

豊田市議会12月定例会が12月3日に開会。会期は12月20日までの18日間です。日本共産党の根本みはる市議は一般質問で市民の声をもとに市政に提起します。質問の概要をお伝えします。(傍聴は席数の制限はありますが、自粛は呼びかけません。また、ひまわりネットワークの中継、ラジオなどでも視聴できます。)

**12月6日(月)
午後2時50分頃**
(時間が前後することもあります)

根本みはる市議

午後の3人目



保育・放課後児童クラブにおける公的責任

コロナで浮き彫りになったケアワーカーの処遇の問題。非正規雇用の改善が求められます。また、放課後児童クラブの公的責任が放課後児童クラブ運営指針で明確であり、雇用の継続、クラブの質の確保の認識を問います。

(1) こども園の保育士の処遇改善

① 公立こども園の正規保育士の人数、非正規保育士(会計年度任用職員)の人数、非正

規率

- ② 非正規保育士(会計年度任用職員)の勤務形態ごとの人数内訳
- ③ 資格の無い保育士補助員の研修時間・研修の機会
- ④ 非正規保育士(会計年度任用職員)の処遇改善
- ⑤ 非正規雇用を正規雇用にする

(2) 放課後児童クラブの公的責任

- ① 民間委託の放課後児童クラブ支援員の人数と雇用契約
- ② 雇用の継続と放課後児童クラブの質の確保
- ③ 支援員・保護者・市との連携
- ④ 放課後児童クラブを直営にする



PCB廃棄物処理事業期限

環境省から、細谷町にある豊田PCB処理事業所(ジェ

スコ(株)の立地自治体の豊田市に、PCB処理事業終了準備期限に関し、要請がされています。豊田PCB処理事業所では、過去に何度も漏えい事故を起こして、改善が求められる事態となった経緯があります。市民の命と健康を守ることを最優先に、この間の背景と、内容、市民への公開説明会を、国に求めることへの考えを問います。

(1) PCB廃棄物処理をめぐり背景と市への要請内容

① PCB廃棄物処理をめぐり背景(国の要請理由・市への要請部分)

② 豊田事業所の事業終了準備期間、施設の解体・撤去完了時期

(2) 市民への公開説明会の開催

- ① 市民への公開説明会の開催に対する市の考え
- ② 延期に対する市の考え

12月議会で提出される議案は(仮称)豊田市博物館建築工事の請負契約、豊田市教育行政計画の策定等の35議案です。

12月市議会日程

12月3日	(金)	本会議・開会	12月13日	(月)	教育社会委員会・分科会
6日	(月)	一般質問	14日	(火)	地域生活委員会・分科会
7日	(火)	一般質問	15日	(水)	企画総務委員会・分科会
8日	(水)	一般質問・議案質疑	16日	(木)	休会
9日	(木)	産業建設委員会・分科会	17日	(金)	予算決算委員会(意見・採決)
10日	(金)	環境福祉委員会・分科会	20日	(月)	討論・採決・閉会



ジェンダー平等をめざして 豊田革新懇が講演会と総会

平和と民主主義・革新統一をすすめる豊田懇談会（豊田革新懇）が豊田市内で11月27日、講演会（左写真）と総会を行いました。

講演会のテーマは「ジェンダー」で、講師の水谷陽子さんは「社会的な性」と表現しました。生物学的な性とは違う意味合いで、社会や文化の中で、どのような役割や属性などを与えられているか、と説明。森元首相の発言（2月3日のJOC評議員会）「女性がたくさん入っている

理事会は時間がかかる」などを紹介し、その後の森氏の説明会見はひととき時間が長かったと指摘しました。

ジェンダーの不平等については、これまでの運動によって「結婚退職制」は克服、「定年差別」も克服してきましたが、「賃金差別」は克服したのか？と問題提起。公的な指標を示し説明しました。まとめは、どうやって変え



講師の紹介

弁護士 水谷陽子さん(名古屋法律事務所)
1989年、三重県四日市市生まれ
2015年、弁護士登録
・明日の自由を守る若手弁護士の会
・LGBT支援法律家ネットワーク
・「憲法をくらしと政治にいかす 改憲 NO! あいち総がかり行動」事務局次長

ていくのか。国連の女性差別撤廃条約や日本国憲法を例示し、人権や主権を活かしている、と提案しました。

活動報告と活動方針

後半は豊田革新懇の総会で、今年度の活動報告。コロナ対策の強化を求める署名がぎ運動や市への要請行動、衆院選のとりくみ等が話され、討論。

新年度の活動方針案についても、地球温暖化対策やジェンダー平等、日米安保条約の廃棄などが提案され、採択されました。（本多のぶひろ）

核兵器禁止条約に 日本政府も参加を

核兵器禁止条約に参加を求める署名を集めます。ぜひご参加ください。署名行動の後は、総会も行われます。

署名行動 12月11日（土）13時半から60分
豊田市駅東側デッキにて

総会 同日15時から、とよた市民活動センターにて
主催は、豊田地域原水爆禁止協議会（写真は10/9 宣伝）



Q&A 日本共産党はどう考える？

「共産」の名
変えない？

共産党という名前は、私たちの理想を示したものです。

英語でコミュニズムと言います。これはもともとラテン語のコムニス＝共同からきています。地域のコミュニティーセンターなどの名前にあるコミュニティー（共同体）と同じ語源です。

人々が角突き合わせ、いがみあって暮らすのではなく、協力して生きていくことをめざした言葉

です。

私たちは、今の社会、資本主義社会が永遠に続くとは思っていません。資本主義社会が持っている問題を解決するために、新しい社会——社会主義・共産主義の未来をつくることを展望しています。

それは旧ソ連や現在の中国とはまったく違います。日本共産党はこれらの国を社会主義・共産主義の国とはみなしていません。

私たちのめざす社会は、資本主義のもとで獲得した自由・人権・民主主義・生活と権利を守るルール、個性の発展——これらをすべて引き継ぎ、より豊かに発展させた社会です。

新しい社会をつくるカギは、生産手段の社会化による搾取の廃止です。それによって労働時間を大幅に短くし、自由な時間を増やし、誰もが自分の能力と可能性を全面的に発展させる社会をつくる——これが共産主義の理想です。私たちの党名には、そうした人類社会の発展に貢献するという大きなロマンと決意が込められています。

資本主義をこえた

未来社会めざす党

（しんぶん赤旗10月31日号より）